

核のゴミいらない！ 全国フォーラム

2024年

11月30日(土)

場所	青森市民ホール(青森駅南横)青森市柳川1丁目2-14 リンクモア平安閣市民ホール 電話 017-722-3770
時間	第一部 午前10時30分(パネルディスカッション) テーマ 核燃料サイクル破綻・40年間の検証 第二部 午後1時(記念講演・パネルディスカッション) テーマ 全国の仲間とともに、若者の夢実る、下北半島新時代を

…再処理できず、搬出できないものは搬入させない…

六ヶ所に海外から返還されたガラス固化体が30年から50年間の約束で一時貯蔵され、搬出期限の最短まで残り1年余。最長の2045年4月25日まで残り21年余、国、事業者が約束を守るのは 極めて困難で、知事の対応も曖昧です。

再処理して出てくる「高レベル放射性廃棄物」(ガラス固化体)の最終処分場は、地下300m以上の深さに、トンネルを200km~300km作り、10万年間管理。操業までに調査、建設に約30年必要。まだ候補地も決まっていない。地震国の日本のどこに適地があるのだろうか。

50年後の再処理工場操業計画がないのに、2024年にはむつ中間貯蔵施設に使用済核燃料の搬入計画。

今回の能登半島地震や東日本大震災など、原子力施設の安全性確保において根本的、決定的問題が明らかになりました。

子どもの学校給食費を全県、無償化が全国で一番になるのは大賛成ですが、一方で、「核のゴミ」の不安やリスクを日本一にする青森県では、人口減少ワースト県になります

青森新時代は核の施設とゴミの不安のない、青森新時代と下北半島新時代をめざすべきです。



イラスト 放出倫氏

主催 「核のゴミから未来を守る青森県民の会」・「原子力資料情報室」

「核のゴミから未来を守る青森県民の会」

2020年8月「青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地としない条例」制定を求める県民の会」を結成し、署名運動を開始、2022年9月に青森県議会に請願。2022年10月11日の本会議で不採択となる。

しかし、このままでは、青森県はなし崩し的に「核のゴミ捨て場」にされかねないとし、青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地としないために、これまでの運動を継承し、名称を改めて「核のゴミから未来を守る青森県民の会」を結成しました。

「県民の会」は青森県内の反核燃、反原発運動の市民団体、労働団体、農業団体など現在、23団体と個人60数名が参加し活動しております。

みなさま、「核のゴミから未来を守る青森県民の会」への入会とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

共同代表 阿部 一久 (青森県平和推進労働組合会議)

共同代表 奥村 榮 (青森県労働組合総連合)

共同代表 古村 一雄 (核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会)

事務局メンバー

(核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団)

(核の中間貯蔵施設はいらない!下北の会)

連絡先 八戸市根城9丁目19-9 浅石法律事務所・核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団内

電話 0178-47-2321 メールアドレス miraiomamoru.kenminnokai@gmail.com

〔URL〕<http://kenminnokai.shop>

集会への賛同・会への入会・ご支援をよろしくお願いいたします。

入会申込はホームページを参照・下記に会費、カンパ等のご協力をお願いします。

振込先 ゆうちょ銀行【記号】18400 【番号】25107731

【名義】カクノゴミカラミライヨマモルアオモリケンミンノカイ

他金融機関からの振込 【店名】八四八(ハチヨンハチ) 普通預金 番号名義は同上

認定特定非営利活動法人「原子力資料情報室」

原子力資料情報室(CNIC)は、原子力に依存しない社会の実現をめざしてつくられた非営利の調査研究機関です。政府や原子力産業から独立した立場で、原子力に関する各種資料の収集や調査研究などを行なっています。

全国、世界の反原発運動と手を結び、原発のない社会を目指しています

共同代表 山口 幸夫・西尾 獏・伴 英幸

〒164-0011 東京都野区中央2-48-4 小倉ビル1階

03-6821-3211 URL <http://cnic.jp> E-mail cnic@nifty.com



2024年3月10日